廣瀬

八木駅舎と西口土地区画整理事業は早期に実現するよう努力したい

市長

南風クラブ
廣瀬　孝人 議員

問　八木駅は、明治32年8月15日に開業された。
本年3月に京都園部間複線化が完成した。
京都までの時間が短縮になり、八木駅舎の改築やバリアフリー化された駅周辺整備の早期実現は地域住民の要望であり、また若い人の定住につながると思うが。

市長　駅舎の整備は、総合振興計画においても重要課題であり重点事業である。早期に実現するよう市としても努力していく。

教育活動に体現者の活用を

問　少子化の進む中、子供たちの教育は、これからのまちづくりに欠かすことのできないものと考える。
特に、中学校の学校教育の中に生徒自身の人間性や将来を見据えた「人生の学び」も必要と考える。
自分の志すことを自分の力で見いだす時期に、学校教育外の事柄に素直に感動し受け入れてくれる姿があり、地域の教育力と体現者の活用が大切と思うが。

教育長　少子化や核家族が進む中、身近に相談できる人が少なく、不安や悩みをもっている保護者が少なくない状況である。
「親のための応援塾」を府と連携して実施する考えである。

園部学校給食共同調理場

仲

病児・病後児保育の実施は無理

市長

日本共産党市会議員団
仲　絹枝 議員

問　すでに京都市や亀岡市など多くの自治体が病児・病後児保育を行っている中で、実施する考え、計画はあるのか。

市長　ニーズがあることは承知しており検討はしているが、現在すぐに実施できる体制ではない。

すこやか医療助成制度を使いやすく

問　平成台の宅地分譲チラシに掲載するほどの主要な子育て支援策を、窓口無料化にして、利用しやすい制度にする考えはないか。

市長　システムの改修の問題等を検討はしているが、さまざまな課題がある。償還払いの方法で継続して実施する。

障害者福祉の拡充を

問　発達支援センターは、三つの事業をバラバラに行うのではなく、総合的な支援を行えるセンターにしていかなければならない。3月で委託契約が切れる日中一時預かり事業の4月以降の方針とセンターの今後のあり方は。また、グループホームとして、市内の遊休施設を有効利用する考えはないか。

市長　21年度と同様の形の中で実施していく。
遊休施設を有効利用してもらえるなら協議をしていく。

八木駅西土地区画整理事業エリア

大町

るり渓流域の水質改善は対応ができるよう検討を続ける

市長

丹政会
大町　功 議員

問　昨年938名の署名と、ダムの水抜きを求める嘆願書を提出した。その後の対応と検討委員会の構成を問う。また、水質検査の実施状況と公表方法は。

市長　市役所内に関係機関で構成する委員会を設置し、協議を進めてきた。有効な対策は何か、水抜きの効果とその他への影響を十分検討し、それが有効性のあるものであれば実施しなければならないと思う。水質検査は市内25個所で年2回実施。直近は昨年11月19日実施した。結果は市のホームページにて公表している。地区の皆さまの思いを十分踏まえ早急に対応ができるよう検討を続けて行きたい。

JR複線化開業に合わせた交通網の見直しは

問　昨年、周辺地域の高齢者に対し聞き取り調査がされたが、その内容と、それを踏まえた高齢者にやさしい交通網の見直しはされるのか。

市長　公共交通網の利用が不便と思われる市内17集落、70歳以上の高齢者112世帯を対象に聞き取り調査を実施した。今その内容をまとめている。高齢者の外出支援は大変重要な課題である。調査の結果を踏まえ施策の構築に努力したい。

歩道設置が求められる園部駅東口

水質改善が望まれる通天湖

山下

柔軟な思考と熱意で早期に歩道を三点セットにはこだわらない

市長

山下　秋則 議員

問　園部駅前の府道園部停車場線の歩道設置について市長はこれまでの答弁で「問題は国道9号との取りあい、道路拡幅、駅前広場整備」と三点を指摘しているが、何よりも早急に解消しなければならないのは、子供たちの危険な登校状況。広場の土地所有者であるJR西日本などとの協議も必要と聞くが、先に歩道だけでも整備できないのか。併せて広場の整備が必要としても、整備の全体計画を示す中で、先行して歩道の整備を急ぐことも一つの方策。広場の土地買収が必要な場合でも、当面、歩道整備で必要最小限度の買収も検討するなど、要は三点を同時に実施という姿勢にこだわるのではなく、一日でも早い子供たちの通学の安全の確保を命題に、柔軟なアイデアと熱意を持って、市長が先頭に立って取り組むべきではないか。

市長　歩道整備は重要な事項と考えている。三点が全部可能にならなければ整備しないというような考えはない。近くには府の総合庁舎もあるので、府の企画調査結果を踏まえ、府とも強く協議していきたい。